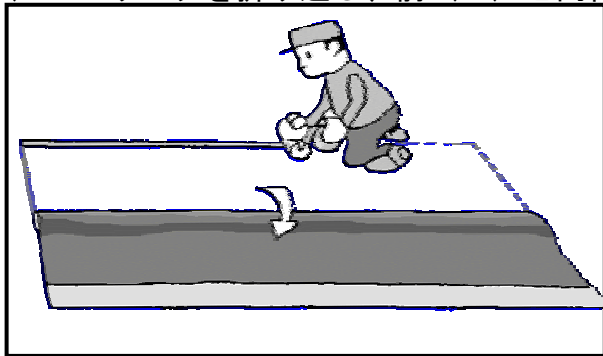
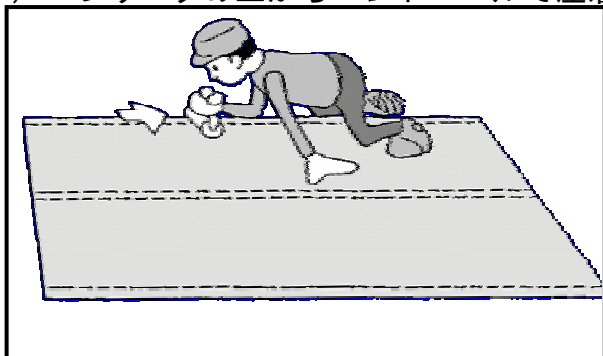


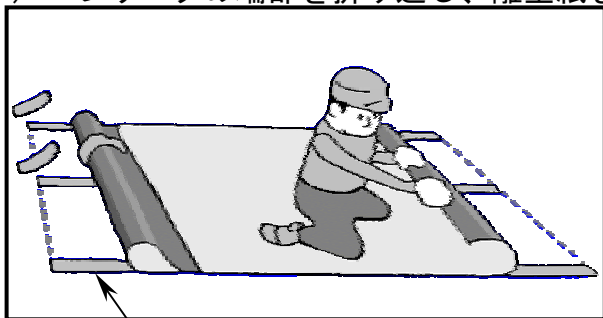
(7) エレリークを折り返し、前(4)と同様に罫書線に沿って両面テープを貼る。



(8) エレリークの上からハンドロールで圧着してください。

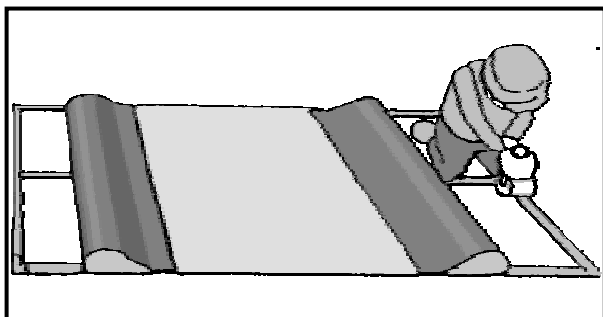


(9) エレリークの端部を折り返し、離型紙を剥がしてください。

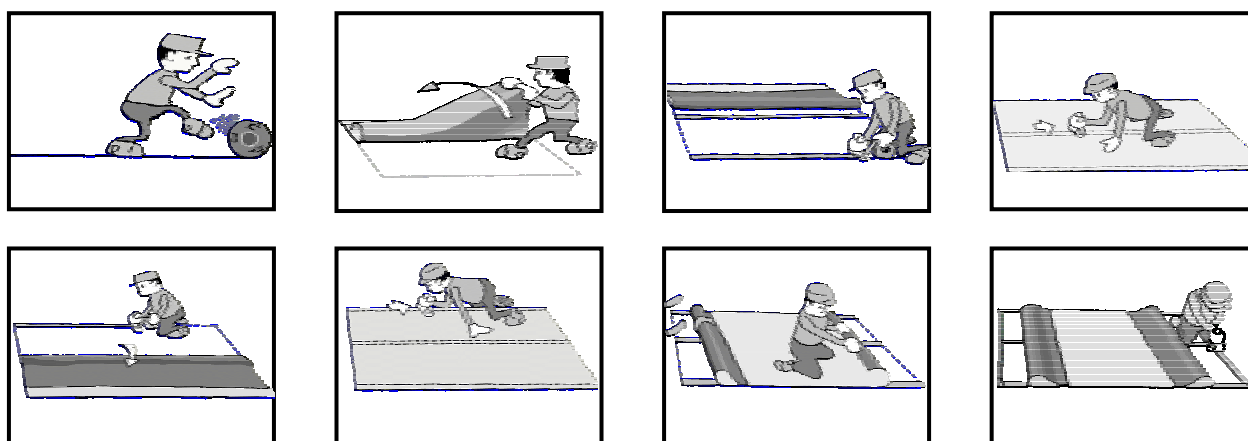


つぎのエレリークと合う端部1箇所だけは、離型紙を剥がさないこと。(後でアーステープを入れるため)

(10) 罫書線に合わせて、両面テープを貼ってください。

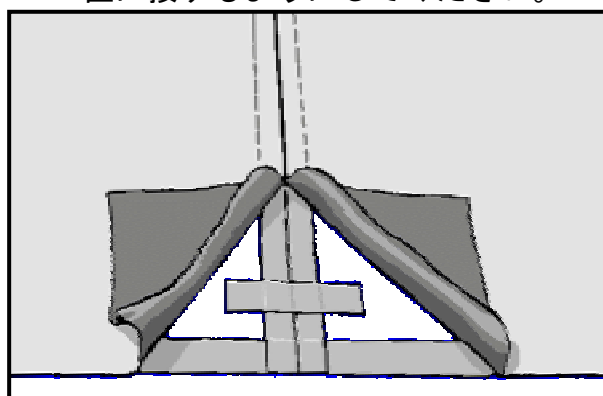


(1 1) ここまでの要領で、次のエレリークを順次敷設してください。



(注) エレリーク同士に隙間が生じないように注意のこと。

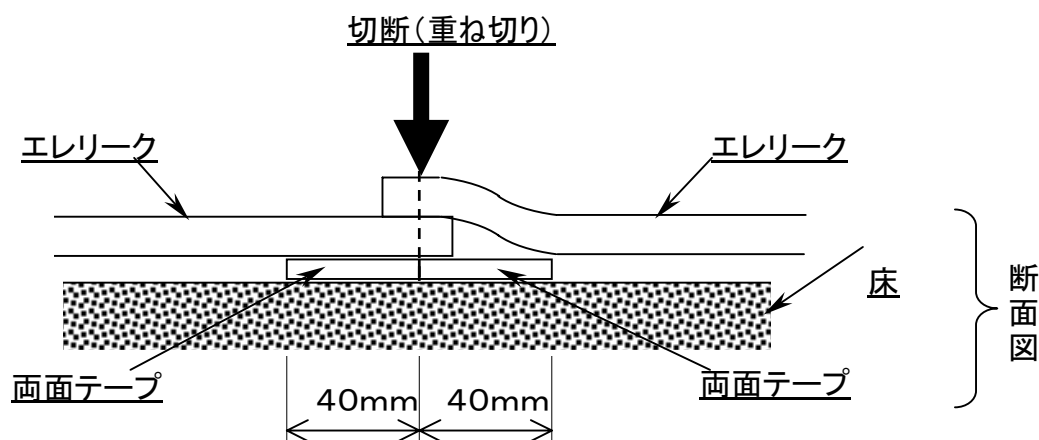
(1 2) アーステープを設置するとき、アーステープとエレリークのベース面（黒い面）が直に接するようにしてください。



両面テープや離型紙などを介在させるとアースの繋がりが途切れることとなります。

アース線も同様に取付けてください。

(1 3) エレリーク同士の目地の隙間を極力少なくするには、重ね切りを推奨します。この際、アース線やアーステープを切断しないよう注意して行なってください。



### 3.2 接着剤全面接着工法

#### 3.2.1 使用材料

使用する材料と必要量を表3に示します。

表3 使用材料

材 料 名	仕 様	必 要 量
エレリーク (クロス張り仕 様)	2 t × 1 m × 10 m / 巻	1 m <sup>2</sup> / m <sup>2</sup>
	2 t × 1.2 m × 10 m / 巻	
	3 t × 1 m × 10 m / 巻	
接 着 剤 (ルビロン R)	エポキシ・ウレタン接着剤	400 g / m <sup>2</sup>
	1液湿気硬化型接着剤	
アーステープ	0.1 t × 40 mm × 120 mm	1枚 / 10 m <sup>2</sup>
	導電性両面粘着テープ	
アース線	ステンレス板 + 1.25 mm <sup>2</sup> I V線	1本 / 50 m <sup>2</sup>

上記使用量は、床面の状況、敷設面積形態等により、若干の変動がありますので、目安としてください。

エレリークには、エレリーク1本にアース板1枚が標準梱包されています。  
但し、施工に必要な粘着テープおよびアーステープは、別途ご注文願います。

#### 3.2.2 使用治具類・副資材類

表4 施工に必要な治具類・副資材類

品 名	用 途	品 名	用 途
1. カッターナイフ	カ ッ ト 用	10. 箒、掃除機	掃 除 用
2. ハサミ	カ ッ ト 用	11. ハンドロール	圧 着 用
3. 定規	カ ッ ト 用	12. ウェス、モップ	掃 除 用
4. 巻尺	計 尺 用	13. ガムテープ	加 工 用
5. 線引器 (墨壺)	線 引 用	14. セロテープ	加 工 用
6. 容器 (3 L)	接 着 剤 用	15. PPテープ	加 工 用
7. 金ベラ	塗 布 用	16. アイランプ	照 明 用
8. 刷毛	塗 布 用	17. ブロアー	乾 燥 用
9. コードリール	電 源 用		

※作業環境に応じて、適宜、選択、追加してください。

### 3.2.3 下地処理

施工後の仕上り良否は、材料、施工技能とともに下地条件で大きく左右されます。十分な下地点検を行い、不都合のないことを確認の上、エレリークの施工を行ってください。

不都合がある又は予測される場合には、施工前に施主、監督者と協議し、補修などの適切な処理を施してください。

重要な点検項目を下記します。

- ①下地の乾燥は十分か。  
コンクリート下地の場合、打設後3週間以上放置して十分乾燥させたのち施工してください。
- ②たわみや振動などの障害はないか。
- ③下地としての剛性は十分か。
- ④浮陸、目違い、接合部の突起・凹凸はないか、平滑な仕上りになっているか。  
凹凸等がひどいときは、モルタル再仕上げ 又は シーラー処理等により、平滑な下地面にしてください。
- ⑤下地表面強度は十分か。  
古い木毛板下地などの場合、表面強度が弱く、十分な接着強さがでないことがあります。  
下地板の貼替え等の処置が必要となります。
- ⑥接着を阻害するような塵埃、モルタル滓、油脂類、錆などの付着はないか。
- ⑦扉開閉部の下地床高は問題ないか。  
扉の開閉時にエレリークを擦ることはないか。

### 3.2.4 施工手順

作業工程	作業内容
1. 下地清掃	下地床面の塵埃をきれいに清掃する。 油汚れがある場合は、トルエンなどで拭きとる。
2. セット位置の 罫書き	施工する室内作業場に合わせて、エレリークの割付け 位置決めをして床面に罫書く。
3. エレリーク セット	2項で罫書いた位置に、エレリークを仮敷きし全体の 状況を確認してから、半分折り返す。
4. 接着剤塗布	エレリークを折り返した部分に、ルビロンRを金ごてで 均一にする。
5. アーステープの 固定	エレリーク同士のつなぎ目に、アーステープを 固定する。
6. 接着剤転写	折り返したエレリークを接着剤面に合わせ、軽く押えて 再び折り返す。
7. 乾 燥	接着剤塗布後、約15～20分間乾燥する。 (乾燥時間は季節変動します。)
8. 貼り付け	折り返したエレリークを貼り合わせる。 アーステープの位置を確認し、慎重に貼り合わせる。
9. 隣接エレリーク 貼り付け	隣接する位置のエレリークを重ね合わせながら、 3項～8項の手順に従い貼り付ける。
10. 脱気圧着	貼り合わせ部をロール又はモップ等で空気を 追い出すように注意しながら圧着する。
11. 重ね切り	エレリーク重ね合わせ部の中央を、定規とカッター ナイフでカットする。(12ページ参照)
12. カット端材除去	カットしたエレリーク端部を取り除く。
13. 端部圧着	エレリーク端部をハンドロールで圧着し、端部の 浮きがないようしっかり貼り付ける。
14. 点 検	貼り合わせ外観、接着状況、アーステープの状態などを 点検し、異常ないことを確認してから、次の貼り合わせ 作業に入る。

#### 4. 養生・メンテナンス

##### (A) 養生

- 1) 養生期間は最低2～3日間必要です。
- 2) 養生期間中のご使用は避けてください。  
どうしても歩行する必要があるときは、保護板などを敷いて使用してください。

##### (B) メンテナンス

- 1) 汚れ落としや艶出しには、次の材料を使用してください。  
サンタファーA : 洗浄剤  
サンタファーB : 艶出し剤  
F B ワックス : 艶出し剤

中性洗剤で洗浄する場合は、小面積のところでテストをし、変色などの異常の無いことを確認してください。

#### 5. 耐薬品性

- 1) よく耐える薬品 : マシン油、灯油、ヒマシ油、揮発油、エタノール、メタノール、グリセリン、アンモニア 等
- 2) 比較的耐える薬品 : 塩酸、希硫酸、リン酸、過酸化水素水、ベンゾール 等
- 3) 耐えない薬品 : 酢酸、硝酸、アセトン、トルオール、メチルエチルケトン 等

但し、いずれの薬品も、少量付着程度であれば十分使用に耐えます。  
反対に、どの薬品でも、長期間付着させたままにしますと、変色などの劣化を引き起こします。薬品が付着した場合は、安全性に十分気をつけながら拭きとってください。

《本製品に関するご質問ご相談は下記にご連絡ください。》

東北ゴム株式会社		<b>TOHOKU RUBBER</b>	
			
ISO9001/14001認証取得		本 社 ☎ 022-387-1511	FAX 022-387-1519
ホームページ <a href="http://www.tohoku-rubber.co.jp">http://www.tohoku-rubber.co.jp</a>			
東北ゴム販売株式会社		本 社 ☎ 03-3862-9911	東北(営)☎ 022-254-7821
		関西支店☎ 06-6203-6485	新潟(営)☎ 025-286-1347
		中部支店☎ 052-586-2630	富山(営)☎ 076-433-3630
		札幌(営)☎ 011-784-8525	福岡(営)☎ 092-534-5600

(TRS 060215)